

拠出金名：東京国際連合広報センター拠出金

国際機関等名	東京国際連合広報センター (英文名称・略称) United Nations Information Center (東京UNIC)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	外務省総合外交政策局国連企画調整課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成18年度	45,713	411,825		1\$ = 111円	(2006年) 100	100
平成17年度	37,450	350,000		1\$ = 107円	(2005年) 100	100
平成16年度	38,500	350,000		1\$ = 110円	(2004年) 100	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2006年度決算(暦年))		
1位	日本	411,825	100%	当該年度の収入 336,760.63ドル		
2位				当該年度の支出 327,767.93ドル		
3位				次年度への繰越 8992.70ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				国連内部監査部(OIOS)		
上記の率及び順位は2007年のもの				(現在の構成員の出身国：スウェーデン等)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
東京国連広報センター(UNIC)は、日本における広報活動推進のため、①英語資料の和訳、②日本語を使用した広報、を活動目標に掲げており、かかる目標は我が国の方針と合致するもの。このような活動方針は、日本国民の国連の活動への理解の増進に大きく貢献している。なお、先進国の国連広報センターの統廃合が進む中、東京UNICが北東アジア地域における唯一の広報センターとしての地位を維持し続けるためにも、本件拠出金は非常に有益であり、費用対効果は高い。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
限られた予算の中で最大の効果を生むように、積極的にボランティアを活用する等の努力を払っている。また、幅広い広報を行うためウェブサイト積極的に活用する等効率化しつつ、日本語コンテンツの内容を充実させる等、発信機能強化に努めている点を評価。						
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 1人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	1人 100%			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称	職 員 氏 名		備 考			
国連広報センター所長	幸田シャーマン		2006年4月3日着任。			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
現地職員を含め、全ての職員が日本人により構成されている。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。